

平成20年度の重点事業を 県に要望しました

7月9日青森県庁において、平成20年度の重点事業要望説明会が開催されました。

主要な要望項目について、市の要望と県の回答をお知らせします。



重点項目を説明する中野渡市長



回答する三村知事

1 一般国道103号青森山バイパスの整備について

3 「ツキノワグマ」の生息調査と適切な保護・捕獲対策について

市 奥入瀬渓流は、日本の宝というよりも世界の宝という思いがある。バイパスを整備するに当たり、これまでトンネルの施工に伴う技術的な課題や滝への影響等を検討してきたが、今年度は地質調査等を行うとともに環境省や林野庁との協議を進めることも、地元のご協力もいただきながら、実現に向かうように力を合わせたい。

県 本年度と来年度で県内のクマ生息数調査等を実施し、その結果を踏まえて本県版の保護・被害防除マニュアルを作成するとともに、今後の保護管理対策の方針を検討したい。

2 主要地方道三沢十和田線元町交差点の右折レーン設置について

2 主要地方道三沢十和田線元町交差点の右折レーン設置について

市 慢性的な渋滞を解消するため、主要地方道三沢十和田線元町交差点（青森銀行元町支店がある交差点）の三沢方向からの路線に、右折レーンを設置してもらえないか。

県 県も必要性を十分認識している。右折レーン設置に当たっては、現在の道路幅では対応できないことから、用地買収や建物などの補償が必要となるため、地元のご協力をいただきながら取り組みたい。来年度に事業着手ができるよう、現在国に対して補助金の要望を行っている。

市 産科・小児科の医師不足解消は、少子化と密接な関係があり、県が真剣に対策を考えなければならぬ、という思いがある。

県 市はいろいろと関連のある大学に掛け合っているところなので、県も一緒に行ってもらうなど、なお一層のご協力をお願いしたい。

4 医師の確保について

市 医学部の学生が産科・小児科を選択してくれるような策を国に考えてほしいというのが一つ。

県 また、県では、都会の大学からこちらに指導医に来ていただく事業を考えているが、これらの展開の中で種々協力していきたい。

問い合わせ先

企画調整課へ
(23)5-1111内線164

